

## コンプライアンス

# コンプライアンス

オリンパスは、誠実で法令を遵守する企業風土の醸成に努めています。当社では、創業100年以上の歴史で培われた「イノベーション」「社会貢献」「誠実さ」を基本に据え、「オリンパスグローバル行動規範」を制定しています。「オリンパスグローバル行動規範」は、オリンパスの方針の基盤であり、グローバルな企業活動において経営層および従業員はこの規範に則って行動しています。

### コンプライアンス推進体制

オリンパスのグローバルコンプライアンス部門は、「オリンパスグローバル行動規範」および会社方針の周知徹底を図るため、経営層および従業員に対し、お客様やビジネスパートナーを公正に扱い、懸念が生じた場合には通報を可能にするなどの対応をとっています。オリンパスグループは、すべての関係において、最高水準のビジネスインテグリティに従うビジネス文化の醸成に努めています。CEOは、オリンパスグループの事業活動において適用される法令を遵守する責任を負い、オリンパスグループ内のコンプライアンスマネジメントシステムの責任者であるグローバルチーフコンプライアンスオフィサー（CCO）を任命しています。取締役会および監査委員会は、CCOからコンプライアンス活動に関する報告を定期的に受けるとともに、必要に応じてCCOと協議しています。CCOは、グローバルリーダーシップチーム（GLT）のメンバーとともに、地域のビジネスセンターにおいて関連する内部規則が遵守され、CCOが監督するマネジメントシステムの要件に従い、ベストプラクティスを反映したコンプライアンス活動が実施されていることを確認します。2023年3月期は、CCOが組織設計を主導し、リスク&コントロールズ、コンプライアンス、プライバシー、情報セキュリティの各機能を統合し、オリンパスのガバナンス、リスク&コンプライアンス（GRC）機能をより統合した新しい組織としました。2023年4月1日付のGRC機能強化および組織設計により、これらのサブセクション間の連携を強化し、オリンパスのリスクマネジメントをさらに強化します。

### コンプライアンス推進体制図（2023年4月現在）



### インテグリティ・ライン（グローバル通報窓口）

オリンパスは、誠実な企業文化を重視し、すべての従業員が質問や懸念を表明できる安全でオープンな職場を提供しています。当社は、懸念事項の報告を希望するすべてのオリンパス社員、ビジネスパートナー、およびその他の第三者が利用できるグローバルな報告システム「オリンパス・インテグリティ・ライン」を提供しており、独立した第三者によって管理されています。コンプライアンス部門は、部門横断的なチームを組織して会合を定期的に行き、チームメンバーの協力のもと報告システムとプロセスの有効性を継続的に改善しています。2023年3月期は、ポリシー違反に対する追跡調査の強化、利益相反の地域別報告の統合、グローバル内部調査委員会の設置、社内調査プロセスの枠組みを整理した「オリンパス内部調査ポリシー」のグローバル展開などを行い、懸念があれば場所や部署にかかわらず同じ高い基準で確実に調査・処理すべく改善を図りました。グローバルコンプライアンス機能は「オリンパスグローバル行動規範」についての一貫したメッセージ、関連するeラーニングやコミュニケーションなどを通じて、このシステムの周知を図っています。2023年3月期は、インテグリティ・ラインなどを通じて809件の通報がありました。適切な審査の結果、不正行為が立証された場合、オリンパスは、ポリシーやプロセスの修正、個人/グループへの研修・教育制度の強化、個人への警告、深刻な場合には解雇を含む是正措置を、現地の規制に従って実施します。2023年3月期は、処理が完了した通報のうち82.1%が審査を経て、その是正処置が立証されました。

### コンプライアンス教育

グローバルコンプライアンス部門では、コンプライアンス意識の啓発および重要法令や社内規程の理解促進と遵守徹底を目的に、コンプライアンス教育の充実を図っています。2023年3月期のグローバルにおける取り組みは以下の通りです。

贈収賄・腐敗防止関連の 集合研修・eラーニング	実施回数：1回 受講者数：22,863名 (受講率約97%)
オリンパスグローバル行動規範関連の 集合研修・eラーニング	実施回数：1回 受講者数：25,516名 (受講率約96%)